

～二十四節気から～

りっとう
立冬(11月7日頃)・・・冬の始まる日

しょうせつ
小雪(11月22日頃)・・・初雪のたよりがきこえるころ

11月に入り、朝晩の冷えこみが強くなってきました。紅葉の季節ですが、立冬をすぎると暦のうえでは冬にはいります。

(参考:ポプラディア情報館『年中行事』)

おしらせ

購入希望図書 募集中

学校の図書室に入れて欲しい本をお聞きしています。

図書室の受付カウンター横に、希望記入用紙が置いてあります。

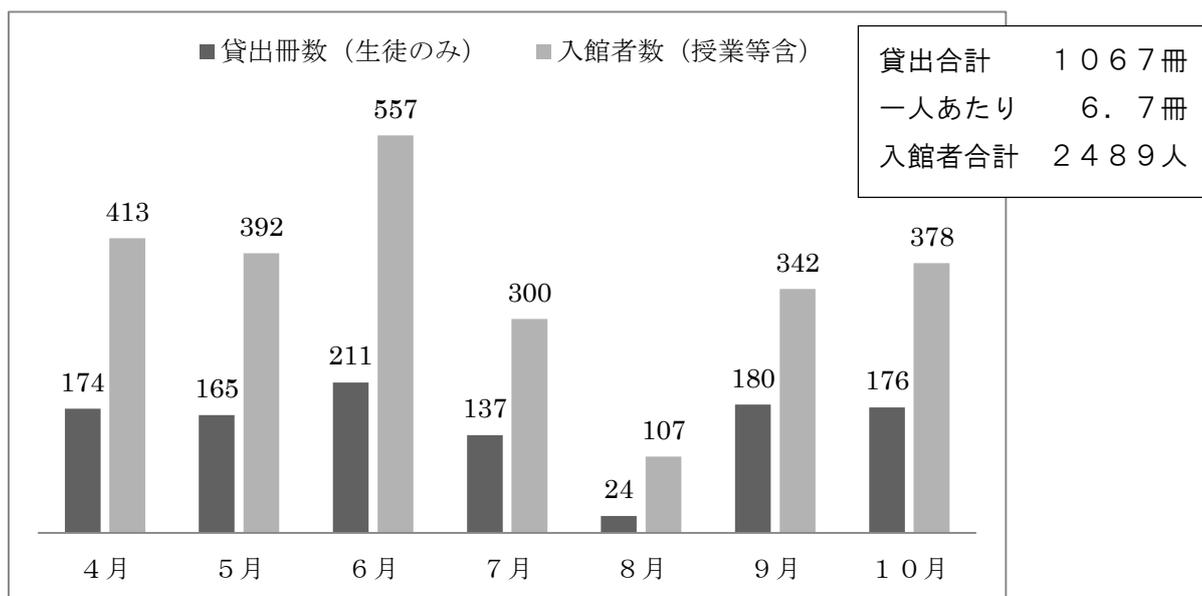
ただし、文庫・マンガ・雑誌、学習や検定の問題集などは購入できません。

自分だけではなく、宝達高校の生徒みんなが楽しめる本を教えてください。

(すべての要望にこたえられない場合もあります。ご了承ください。)



4月～10月の図書室利用状況



◎貸出については、ライトノベルといわれる文庫本の貸出が目立つ。2学期に入り、3年生が進路に関連のある本を探しに来ている。読書週間の期間中は、朝読書用の本をもとめる生徒もいた。

◎昼休みなどの休憩時間に読書をしに来ている。貸出が禁止となっている雑誌やマンガを読んでいる生徒も見受けられる。

◎授業等での利用は、主に参考資料を使う際に利用された。また、読書のほか、自習やテスト勉強などにも利用された。

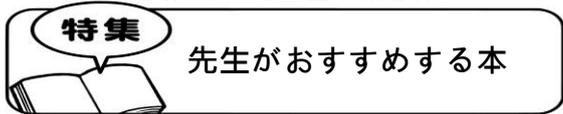
学校の図書室は学習や読書活動を支援する場であることはもちろん、のんびりとリラックスできる空間でもあります。公共図書館とは違い、他の人の迷惑にならない程度のおしゃべり等はあってもかまわないと思っていますので、気軽に利用してください。

ただし、使った本やイスは片づける、飲食はしない、大声は出さないなどのルールは守ってくださいね！



先月号のつづき！

図書委員会企画 第1弾



西川 先生のおすすめ

『正しいブスのほめ方』 トキオ・ナレッジ

人間関係の「困った」を一発で解決する70の社交辞令を紹介してくれる本です。
もてたい男女必見です！！

岡野定 先生のおすすめ

『お母さんの最後の1日』 北川 悦吏子

末期ガンで入院中の母を看病するために、三姉妹と父・弘文は、余命わずかな母を前に明るく振舞いながらも、それぞれの胸に、それぞれの想いを抱えていた。母が亡くなり、その最後の1日を母・娘、そしてふたりを取り巻く家族や病院の医師、看護師の姿も交えながら描いていく。

最後のときを迎える母のそばで、様々な問題を抱えながら右往左往する家族の様子が、少しおかしくもあり、そして悲しくもある……。

成田 先生のおすすめ

『新釈 走れメロス』 森見 登美彦

中島敦の「山月記」、芥川龍之介の「藪の中」、太宰治の「走れメロス」、坂口安吾の「桜の森の満開の下」、森鷗外の「百物語」。日本の近代文学の名作5作品の舞台を京都の大学に移したパロディ作品。かなりユーモアに書きながら、元の作品の大切な部分は残されている作品です。

これを機に元の文学作品にも手を伸ばしてみてください。

岩網 先生のおすすめ

『キケン』 有川 浩

危険な奴らが巻き起こす、熱血・青春物語。えっ、理系男子ってこんなアブナイの！？

とある大学にある「機械制御研究部」なるサークル。ここは、その活動における様々な伝説や破壊的行為から【キケン】と称され、忌み畏れられていた。【キケン】はまさしく危険人物に率いられた特殊集団であり、犯罪ストレスの「実験」を行うことすら日常であった。これは、その黄金時代を描いた物語である。

佐竹 先生のおすすめ

『砂糖の歴史』 エリザベス・アボット

日常生活にありふれている“砂糖”は貿易だけでなく政治や倫理に至る様々な事が関係している。
あたり前に思う事に疑問を抱き、考えるきっかけになる本だと思います。

今回は、岩佐・南・石木・能村（3年図書委員）が担当しました。